

炭素硫黄分析装置の紹介

鉄鋼材料や非鉄金属材料に含まれる**炭素(C)**と**硫黄(S)**を同時かつ正確に分析する装置です。

【測定原理】

試料を磁性るつぼに入れ、酸素気流中、高周波加熱炉で溶解させると試料中のCはCO₂とCOに、SはSO₂になります。これらのガスを赤外線検出器で分析し含有率を求めます。C、S含有既知の標準物質で作成した検量線より試料中のC、Sの量を正確に求めることができます(図1、2参照)。

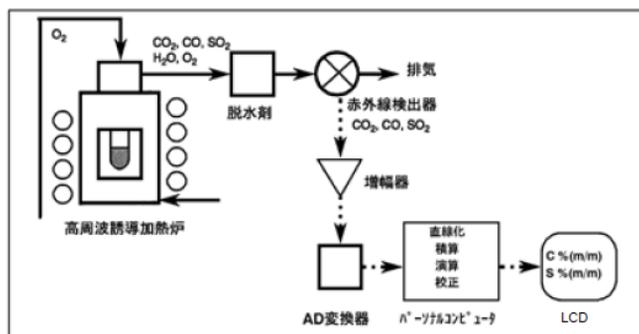


図1 装置の分析フローダイアグラム



図2 測定画面



図3 装置外観 (EMIA-920V2、(株)堀場製作所)

【特徴】

- 高周波誘導加熱炉方式の採用
- 高周波炉オートクリーン機構とるつぼ台周辺清掃機能を装備
- PCによる簡単操作 (図2参照)

【仕様】

- 測定範囲：C 0~6%、S 0~1%
- 感度：0.000001%
- 測定時間：燃烧開始後30~60秒

【活用事例】

- 鋳鉄、炭素鋼、合金鋼、ステンレス鋼の分析に活用

【ご利用料金】

- 依頼試験 5,000円 / 1試料・1成分
- 機器貸付 1,730円 / 1時間

【問い合わせ先】

中越技術支援センター 三浦、天城
TEL 0258-46-3700